

## 2. 各班における研究会実施報告

### 第1研究班 2003年度 第1回研究会

日 時： 2003年6月27日

場 所： 龍谷大学 紫英館 第3共同研究室

出席者： 白石克孝、伊達浩憲、西垣泰幸、新川達郎、広原盛明、本多滝夫、山口道昭、  
足立裕一、木原勝彰、大西均、園田正彦、田中宏（順不同、計12名）  
土山希美枝（第2班）、富野暉一郎（センター長、第3班）、大山万里子（RA）

配布資料：1) オープン・リサーチ・センター構想調書

2) 地域 ORC 第1研究班名簿

3) 平成15年度地域 ORC 研究予算

4) 提出書類一式

（研究支出費願、出張計画書、出張報告書、セミナー計画書、備品・  
用品・消耗品調達請求書、物件調達選定・立替理由書、銀行振込依  
頼書）

5) 日程表（2003年度5月～2004年度3月）

出席者全員による自己紹介の後、白石第1班班長と大山万里子 RA から提出書類一式の説明と質疑がなされた。

つづいて白石第1班班長より LORC についての説明と第1班から第4班までの各班の課題と相互の関連について説明がなされた。そして富野センター長より今年度の予定されている日程について説明がなされた。

第1班の今後の研究計画について討論をした。討論の結果、

- ・ 海外出張をともなう調査・研究や共同研究に必要な海外研究者の招聘も含めて、海外からの情報収集と研究を積極的に進める。
- ・ 初年度は、班としての取れんするような研究というよりは各研究員の研究計画と LORC 全体の事業との関わりを重視して、国内外の出張調査も含めて、調査研究を進める。
- ・ NPO 政策研究所の「志の森大学」構想を今年度は第1班が中心に、次年度は2班にも関わってもらう形で、LORC との2年間の社会実験的な共同事業として進める。
- ・ オープンリサーチセンターは社会との連携交流が重要な要素であるため、参加と協働の政策システムづくりに関わるようなプロジェクトがあれば紹介する。場合によっては LORC との共同事業の可能性についても議論する。